

特定非営利活動法人 学習開発研究所

平成 16 年度研修事業

学習開発研究法 講座
ごあんない

初版 平成 16 年 7 月 12 日

第 2 初版 平成 16 年 8 月 28 日

学習開発研究法 講座



指導者 西之園晴夫

現在、教育は転換期を迎えています。このような変化から誰も逃れられなくなっています。教育行政からの指導だけで問題が解決する時代は過ぎました。一人ひとりの教師が自分の教室で対応すること、勤務する学校で意思決定することが求められることが多くなってきています。そのようなときに冷静に判断し対応するためには、自分の授業や子どもたちの実態についての更なる理解が求められています。

これまでの授業研究や教育研究では、学習指導要領や教科書の内容の理解、あるいは総合的な学習の教育方法などが研究の対象であり、その効果を調べるために個人の成績を取り扱っても、統計処理を行うための1サンプルとして扱われ、学習者個人の特性を追求されることはありませんでした。教育内容や教育方法が優れていれば、教育効果もそれに応じて改善されるというものでした。

しかし、この前提が危なくなっています。少子社会を迎えて「失敗はあってもいいが挫折のない学習指導」ということが強く望まれます。そのためには教育研究の枠組みを大きく変更する必要があります。

これまでの数量的な分析だけでなく、授業でのコミュニケーションの内容の分析にも用いられている質的分析は、これからますます重要になる研究方法です。さらに一人ひとりの学習者に焦点を当てた研究方法が望まれています。そのためには情報技術 IT がきわめて有望な用具となります。とくに今後はユビキタス情報機器(PDA やケータイなど)が個人の学習ニーズに対応する機器として注目されるようになるでしょう。それは単に IT の教育活用という視点ではなく、個人の学習ニーズに応え個人の学習の進展を把握するための機器として活用することが重要であり、そのための研究方法が重要になってきています。

本講座では、研究が進むにしたがって一人ひとりの学習者がますますよく見えるようになる分析方法や、データ処理の方法について学びます。また、参加者の経験がもっとも重要な情報ですから、チームを組んでインターネットで相互に学びあえるような枠組みを提供します。

受講の学習成果：

特定の個人、特定のグループ、さらには1クラスを縦断的に記述して、一人ひとりの学習者が受身的な学習から自立した学習に至る過程を分析できるような、簡単なデータ解析ならびにデータベースの開発能力を習得して、1学期あるいは1単元にわたるデータ解析システムを作成する。

学習指導者：

西之園 晴夫

特定非営利活動法人学習開発研究所代表
京都教育大学名誉教授、佛教大学教授

指導助手：

望月 紫帆

特定非営利活動法人学習開発研究所 専従所員



望月 紫帆助手

対象者：

学習指導を担当している実務者で、教科学習、総合的な学習、コンピュータやインターネットを利用した学習などを具体的に計画しているか、あるいはすでに実践していて、とくに研修計画、校内研修の企画など、授業研究の基礎を習得することを希望する者。

開講期間：

平成 16 年 9 月 4 日（土）～12 月 25 日（土）の 16 週間

指導方法：

受講者数名からなるチームを編成し、チームのメンバー同士のコミュニケーション活動による学習（協調学習）を重視する。

毎週ホームページから指定する課題をダウンロードし、受講者がお互いに報告しあうなどのオンライン協調学習方式で実施する。

さらに毎月第 1 土曜日（午後）に集合講習会を実施するが、就学、勤務、家事などの状況に応じてオンライン学習のみでも受講可。

なおオンライン学習への対応は毎週金曜日夜から月曜日夜までを定例とする。

受講者に必要な設備：

インターネットに接続できるパソコンとプリンタ。教材を閲覧・印刷したり、レポートを作成したりするために Adobe Reader(無償でダウンロード可能)、Word、Excel を使用。インターネットはブロードバンドで接続されていることが望ましい（ISDN 接続でも可）。

定 員：

20 名(先着順)

修了証の発行：

学習に積極的に参加し、指定のレポートを提出し、規定の水準に達していると判定された受講者には修了証を郵送する。（平成 17 年 1 月末発送予定）

費 用：

	NPO 法人学習開発研究所会員	一 般
オンライン受講料	無料	8,000 円
集合講習会の資料代・その他	各回 2,000 円	各回 2,000 円
テキスト、通信費	受講生負担	受講生負担

テキスト：

「論理トレーニング」(野矢茂樹，産業図書 ¥2,520)

「質的研究法による授業研究」(平山満義編著，北大路書房 ¥3,360)

本研究所が開発した教材を、受講者自身が研究所指定のホームページからダウンロードし、印刷する（印刷・送付のサービスを計画中）。

参考文献：

「評価規準と評価基準表を使った授業実践の方法 - ポートフォリオを活用した教科学習、総合学習、教師教育」(安藤輝次，黎明書房 ¥3,045)

授業内容概要：(受講者の興味関心や学習の進み具合によって修正することもある)

週	集合講習会 実施日	テーマ
1	9月4日午後	学習指導を開発するための研究と研究の枠組み
2		一人ひとりの子どもの指導と研究テーマの立て方
3		研究テーマは適切に立てられているか
4		統計処理による分析から論理と推論による分析へ
5	10月2日午後	論理的な推論と質的研究
6		一人ひとりの学習開発のための質的分析
7		観察と記録の方法の演習
8		分析と解釈の方法と意義(Excelによる分析)
9		記述統計学と個人の分析
10	11月6日午後	クロス集計による関連の分析(原因の追究)
11		コンピュータによる統計処理(記述統計とExcelの活用)
12		記述統計による分析の演習
13		経験と暗黙知をどのように表現するか(PowerPointの活用)
14	12月4日午後	自己評価と主体的学習(適切な判断と学習の自己責任)
15		評価規準の設定と評価者
16		新しい評価観に基づく学習開発

講師略歴：

西之園 晴夫

日本教育工学会、教育システム情報学会、日本教育実践学会などで活躍。

とくに自分の授業を対象として研究論文を書いており、教育方法や教育技術についての論文多数。

1959年 京都大学工学部電子工学科卒業

1961年 京都大学教育学部教育課程コース卒業

1961-68年 京都大学工業教員養成所電気工学科助手、助教授

1968-93年 京都教育大学教育学部技術職業科助教授、教育工学センター、教育実践研究指導センター教授

1993-98年 鳴門教育大学大学院教授。修士課程、兵庫教育大学連合大学院の博士課程で研究と指導

1999年～ 佛教大学教育学部教授。学部、修士課程、博士課程で研究と指導

望月 紫帆

2002年 佛教大学教育学部教育学科卒業

2004年 佛教大学教育学研究科生涯教育専攻修了